

# 台風制御に必要な予測と監視に貢献する海の無人機開発

## Project manager

森修一

海洋研究開発機構 地球環境部門  
大気海洋相互作用研究センター  
調査役(上席研究員)



## 代表機関

海洋研究開発機構

## 研究開発機関

海洋研究開発機構

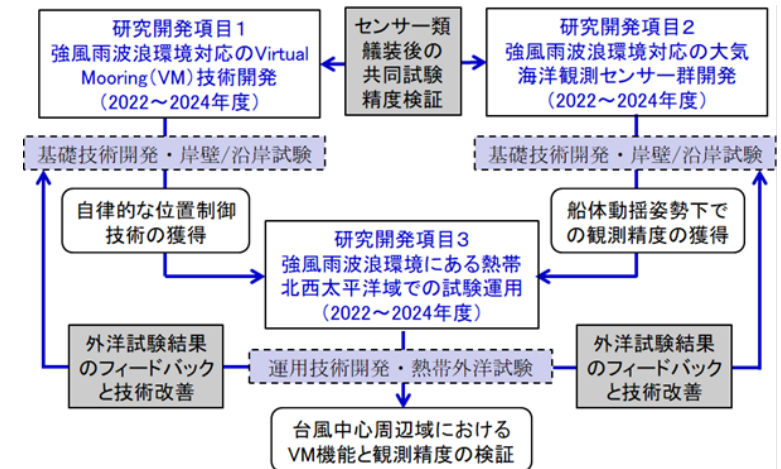
## プロジェクト概要

気象制御を実現するためには、現象の継続的な観測が必要です。台風については、その発生発達に重要な中心周辺域の海上大気や海洋表層の継続的な監視が重要ですが、それは航空機や衛星では難しくボトルネックとなります。本プロジェクトでは、自律的に台風の中心周辺域を追跡可能な仮想係留 (Virtual Mooring) 機能を持ち、発生発達に伴う移動と共に大気海洋データを継続的に取得できる海上無人観測機を開発します。

## 終了時(2024年)のマイルストーン

台風中心周辺域における海上気象と海洋表層を気象制御に必要な精度で継続監視可能な海上無人機 (VM ドローン) を開発します。

## プロジェクト内の研究開発テーマ構成



## 研究開発プロジェクトの体制図 (研究開発及びPM活動支援体制)

